



# 動

物愛護の特集を読んで、鹿屋保健所管内においても年間200匹程が殺処分されているという事を知り驚きました。我が家も息子が8年前に近所で捨てられていたネコを拾ってきて飼うことになりました。今では家族の一員となり、なくてはならない存在となっています。不幸な動物たちが増えないよう、愛情と責任を持って関わっていくことが何より大切ですよ。(みんみんさん・52歳・女性)

犬・猫の殺処分は、近年減少しているものの、1年で約200匹という数字は決して少ないとは言えない状況です。みんみんさんの息子さんに助けられた猫は幸せですね。動物は、私たちの生活を色んな形で豊かにしてくれる、人間にとってかけがえのない存在です。私たちは、ペットを迎え正しく飼い、そして見送ることを飼う前も飼ってから考えるようにしたいですね。

# 90

歳のおばがグループホームに入所したと聞き面会に行きました。おばと立ったまま話していても椅子も持って来られません。ましてやお茶の一杯も出されませんでした。私もグループホームで働いていますが、面会の方が来られたらまず人数分の椅子とお茶を出します。帰りには利用者の様子等をお話して玄関まで見送りま

す。面倒を見ているのではなく、見させていただいていると思いがら仕事をしています。(O・Mさん・59歳・女性)

O・Mさんは嫌な思いをされたのですね。どこの職場においても接遇は大切なものです。ほんの少しの気遣いや意識的な行動によって、温かい気持ちになったり、不安感を取り除けたりできるものです。日々の対応を振り返ることの大切さを教えていただきありがとうございます。

# 広

報かのやは毎号、いろいろな情報を知ることができてとても役立っています。鹿屋へ移住してからまだまだ浅いので、出かける場所やイベントなどの紹介記事を見つけては足を運んでみたりしています。市の事、住んでいる人の事、これからも活用していきたいです。(まあいさん・32歳・女性)

まあいさんは鹿屋市に移住されて間もないとのことですので、いろいろな場所もイベントも新鮮に感じられるでしょうね。その時々喜びや疑問などを教えていただけたらありがたいです。これからも「広報かのや」をよろしくお願いします。

# 故

郷への想いを地方創生のヒントにーを楽しく読ませていただきました。皆さん真剣に鹿屋のことを考えているなあ。鹿屋には沢山いいところがあるので、もっと市外や県外、世界へ発信していければいいなと思います。まずはカンパチ、バラ、さつま芋からですかね。体育大学のこともアピールしていくべきですね。(ばらちゃんcuteさん・38歳・女性)

現在、国を挙げて地方創生に向けた取り組みが進められ、地方が自ら考え、そして責任を持って実行していくことが求められています。これからは市民の皆さんをはじめ、故郷を離れ頑張っている方など、みんなと一緒に鹿屋を盛り上げたいですね。

このほか、複数のおハガキをいただきます。今号で掲載できなかつたおハガキについては、ホームページで公開しています。

※キリトリ線

8 9 3 - 8 5 0 1

No.237

## 市民の皆さんからの お便りを募集

広報誌への感想や、市へのご意見のほか、地域のイベントや出来事、お勧めスポットなど多くの情報もお寄せください。

お便りをいただいた方の中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています！

※掲載時に、原稿の一部を手直しする場合もございます。

〒 893-8501 鹿屋市共栄町 20-1  
市広報広聴課  
「市民のひろば」係  
☎ 31-1123



お手数ですが  
52円切手を  
お貼りください

鹿屋市役所 広報広聴課  
Kanoya 「市民のひろば」係 行

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢／性別

歳 男 ・ 女

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント

要 ・ 不要